

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

(9) 普及啓発

気候変動や適応策という考え方については、令和7年度の県民へのアンケート調査結果から「適応」の「言葉自体を知らなかった」が約6割となっており、令和2年度調査と比較して大きな変化は認められなかったことから、認知度の向上を図るため各種普及啓発活動により、気候変動による影響を周知し、自然災害への備えや熱中症対策などに関する自主的な取組を促していきます。その際、外国人に向けた複数言語記載や年少者向けには分かりやすいものとするなど、対象者の多様性を考慮していきます。

項目	細目	国による影響評価(適応計画版)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
水資源	水供給(地表水)	重大性: ● 重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	【将来の影響】 ・気候変動により将来的に少雨が続くことも想定される。 ・入域観光客数の増加に伴い水使用量が増加すると予想される中、気候変動による無降水日の増加により水不足が発生することが懸念されている。	・水関連の各イベント等において、雨水等利用の手引き書やチラシを配布し、雨水等有効利用の普及啓発に取り組む。 ・節水対策及び節水についてPRを行い、関連業界、市町村と連携して普及に取り組む。
	分布・個体群の変動(外来生物)	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	◎	・気候変動により外来種の分布拡大や定着を促進することが懸念されており、今後、外来種による生態系への被害のリスクが高まること懸念される。	・侵入のおそれのある外来種に関する情報提供・普及啓発に取り組む。
自然生態系	洪水・内水	重大性: ● 重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	【将来の影響】 ・集中豪雨による河川取水施設の浸水、濁水による取水停止の増加が懸念されている。 ・降雨量の増大や集中豪雨による水害の激甚化・頻発化が予測されている。 ・河川の近くの低平地等では、河川水位が上昇する頻度の増加によって、浸水時間の長期化を招くと想定される。 ・大雨の増加は、都市部以外に農地等への浸水被害等をもたらすことも想定される。	・洪水浸水想定区域の指定・公表や河川の水位を公表に取り組む。 【再掲】 ・ダム貯水量等の情報提供に取り組む。 ・地域防災リーダー育成研修会、市町村向け各種セミナー・講演会等の実施に取り組む。 ・自然災害発生時において、関係機関と共有している「所轄県防災情報システム」を活用し、被災自治体より被害情報や避難情報、避難所開設情報等の収集に取り組む。 また、収集した情報を「沖縄防災情報ポータルハイサイ！防災でーびる」により、県民への情報提供に取り組む。 ・学校の教職員を研修会に参加させ、予期せぬ災害時(地震・津波・台風・火事)の対策)に対応できる指導力の向上に取り組む。 ・外部の専門家や保護者等の協力の下、学校における防災計画やマニュアルの策定を促進する。
	高潮・高波	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	【将来の影響】 ・台風の強度や経路の変化等による高波のリスク増大の可能性が予測されている。 ・気候変動により海面水位が上昇する可能性が非常に高く、それにより高潮の浸水リスクは高まることから、設計水位を見直す必要が生じてくる。	・イベント・ワークショップを通して、気候変動の影響として想定される自然災害増加のリスクに備える防災知識について普及啓発に取り組む。 ・自然災害発生時において、関係機関と共有している「所轄県防災情報システム」を活用し、被災自治

(9) 普及啓発

気候変動や適応策という考え方については、県民・事業者へのアンケート調査結果から「適応」の「言葉自体を知らなかった」が6割強となっていることから、認知度の向上を図るため各種普及啓発活動により、気候変動による影響を周知し、自然災害への備えや熱中症対策などに関する自主的な取組を促していきます。その際、外国人に向けた複数言語記載や年少者向けには分かりやすいものとするなど、対象者の多様性を考慮していきます。

(その1)

項目	細目	国による影響評価(2020年)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
水資源	水供給(地表水)	重大性: ● 重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	・気候変動により将来的に少雨が続くことも想定されています。 ・入域観光客数の増加に伴い水使用量が増加すると予想される中、気候変動による無降水日の増加により水不足が発生することが懸念されています。	・水関連の各イベント等において、雨水等利用の手引き書やチラシを配布し、雨水等有効利用の普及啓発に取り組む。 ・節水対策及び節水についてPRを行い、関連業界、市町村と連携して普及に取り組む。 ・水資源について、小学生用副読本の作成・配布、中学生水の作文コンクール等のイベントの実施支援に取り組む。
	分布・個体群の変動(外来生物)	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	◎	・侵略的外来生物の侵入・定着確率が気候変動により高まること懸念されています。	・侵入のおそれのある外来種に関する情報提供・普及啓発に取り組む。
自然災害等	洪水・内水	重大性: ● 重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	・土地開発による透水面積の低下が進み、雨水流出が増大し、集中豪雨による水害が多発することが懸念されています。 ・台風の大規模化・強化に伴う被害の増加の可能性があります。 ・集中豪雨による河川取水施設の浸水、濁水による取水停止の増加が懸念されています。	・浸水想定区域の公表や河川水位を公表していきます。 ・ダム貯水量等の情報提供に取り組む。 ・地域防災リーダー育成研修会、市町村向け各種セミナー・講演会等の実施に取り組む。 ・学校の教職員を研修会に参加させ、予期せぬ災害時(地震・津波・台風・火事)の対策)に対応できる指導力の向上に取り組む。
	高潮・高波	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	・海面水位の変動が生じる場合、設計水位を再度見直す影響が生じてきます。 ・河川への海水遡上により、河川取水施設に海水が流入する被害の増加の可能性があります。	・イベント・ワークショップを通して、気候変動の影響として想定される自然災害増加のリスクに備える防災知識の普及啓発に取り組む。

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

項目	細目	国による影響評価(2020年)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における対応策
				・河川への海水遡上により、河川取水施設に海水が流入する被害の増加の可能性がある。 ・沿岸の防災施設、港湾・漁港施設等の構造物などでは、海面水位の上昇や台風や冬の発達した低気圧の強度が増加して潮位偏差や波高が増大すると、安全性が十分確保できなくなる箇所が多くなると予測される。	・体より被害情報や避難情報、避難所開設情報等の収集に取り組む。 また、収集した情報を「沖防防災情報ポータルハイサイ！防災でーびる」により、県民への情報提供に取り組む。
山地	土石流・地すべり等	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	【将来の影響】 ・長雨や集中豪雨による土砂災害発生の危険度が高まること懸念されている。 ・気候変動による災害危険区域の拡大や、そこに生活することにより、生命や財産に被害が及ぶリスクが増大している。 ・異常な豪雨による多量の雨水が、地形・地質の影響により土壌の深い部分まで浸透することで、立木の根系が及ぶ範囲より深い部分で崩壊が発生する等、森林の有する山地災害防止機能の限界を越えた山腹崩壊等が発生する恐れがある。 ・河川災害が激しくなることにより災害危険区域への被害が増大する恐れがある。 ・台風による大雨や波高によって発生する風倒木等は山地災害の規模を大きくする可能性が指摘されている。	・学校の教職員の研修会への参加により、予期せぬ災害時（地震・津波・台風・火事）の対応できる指導力の向上に取り組む。 ・イベント・ワークショップを通して、気候変動の影響として想定される自然災害増加のリスクに備える防災知識の普及啓発に取り組む。 ・地域防災リーダー育成研修会、市町村向け各種セミナー・講演会等の実施に取り組む。 ・自然災害発生時において、関係機関と共有している「情報共有連携システム」を活用し、被災自治体より被害情報や避難情報、避難所開設情報の収集に取り組む。 また、収集した情報を「沖防防災情報ポータルハイサイ！防災でーびる」により、県民への情報提供に取り組む。
暑熱	熱中症等	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	【現在の影響】 ・県内における熱中症による救急搬送人員、熱中症死亡者数の増加傾向が確認されている。 【将来の影響】 ・従来の感覚での暑さ対策では不十分で、長期間にわたって健康を損ねたり、死亡事故につながる事例がある。 ・県内では、真夏日や熱帯夜の年間日数は長期的に増加していることから、観光客に対して熱中症対策について情報提供が必要がある。	・啓発チラシの作成、県内広報誌への掲載、webサイト上での暑さ指数の公表等により、熱中症対策に係る情報を県民に周知する。
その他	暑熱による生活への影響等	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	【将来の影響】 ・気温上昇による、生物多様性の減少が懸念されている。 ・将来的に気温上昇による熱中症の増加等の可能性がある。 ・建築物省エネ法等が改正された事に伴い、手引書の改訂が必要となる。 ・過去5年間（2015～2021年）の観測における熱中症死亡者数、死者数はともに総観測において最大となっている。 ・気候変動による災害の発生や気温の長期的な上昇傾向による熱中症の増加が想定される。	・イベント・ワークショップを通して、気温上昇による熱中症対策の普及啓発に取り組む。

※ 青文字：県で取組は実施していないが、国の影響評価及び県の計画を基に重要と思われる細目について参考に記載

※ ○：本県において施策が実施されている細目

※ ◎：本県において施策が実施されており、特に重要と考えられる細目

※ 黄色網掛けは、現行計画から追加・変更等した内容

(その2)

項目	細目	国による影響評価(2020年)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における対応策
山地	土石流・地すべり等	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	・気候変動による災害危険区域の拡大や、そこに生活することにより、生命や財産に被害が及ぶリスクが増大しています。	・学校の教職員の研修会への参加により、予期せぬ災害時（地震・津波・台風・火事の対策）に対応できる指導力の向上に取り組めます。 ・イベント・ワークショップを通して、気候変動の影響として想定される自然災害増加のリスクに備える防災知識の普及啓発に取り組めます。 ・地域防災リーダー育成研修会、市町村向け各種セミナー・講演会等の実施に取り組めます。
暑熱	死亡リスク等	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	・熱ストレス超過死亡数は、年齢層に関わらず、全ての県で2倍以上になると予測されています。	・各場面に於ける気象情報及び暑さ指数（WBGT）の提供や注意喚起、予防・対処法の普及啓発、発生状況等に係る情報提供に取り組めます。
暑熱	熱中症等	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	・従来の感覚での暑さ対策では不十分で、長期間にわたって健康を損ねたり、死亡事故につながる危険性が高くなっています。	・啓発チラシの作成、県内広報誌への掲載、webサイト上での暑さ指数の公表等により、熱中症対策に係る情報を県民に周知します。 ・県内23の定点病院における熱中症診断患者の数を集計し、公表に取り組めます。
その他	暑熱による生活への影響等	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	・気候変動による災害の発生時や気温の長期的な上昇傾向による熱中症の増加が想定されます。	・イベント・ワークショップを通して、気温上昇による熱中症対策の普及啓発に取り組めます。

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

2. 施策の事例紹介

前項で整理した各種適応策について、具体的な写真や図表等を用いて一部掲載します。

分野：農業・林業・水産業	大項目：農業	小項目：農業生産基盤
影響：大雨の増加	適応策	
・集中豪雨の増加は、農地からの耕土流出が増えることで、農地の劣化を招き、河川及び沿岸生態系への影響が懸念されます。	<p>・農地の勾配修正、グリーンベルト、畑面植生等の発生源対策に取り組みます。</p>  <p>グリーンベルト (左：植栽後、右：子供たちによる植栽活動)</p>  <p>畑の勾配抑制 マルチング</p> <p>農地における赤土等流出防止対策の事例 出典：第2次沖縄県赤土等流出防止対策基本計画 (令和5年3月)</p>	



分野：水環境・水資源	大項目：水資源	小項目：河川
影響：無降水日の増加	適応策	
・入域観光客数の増加に伴い水使用量が増加すると予想される中、気候変動による無降水日の増加により水不足が発生することが懸念されています。	<p>・海水淡水化施設を導入する等、渇水対策、災害時の水資源対策に努めます。</p>  <p>可搬型海水淡水化装置 (外観)</p>  <p>可搬型海水淡水化装置 (内部)</p> <p>出典：沖縄県企業局HP</p>	

127

2. 施策の事例紹介

前項で整理した各種適応策について、具体的な写真や図表等を用いて一部掲載します。

分野：農業・林業・水産業	大項目：農業	小項目：農業生産基盤
影響：大雨の増加	適応策	
・大雨の増加は、農地からの耕土流出が増えることで農地の劣化を招き、河川及び沿岸生態系への影響が懸念されています。	<p>・農地の勾配修正、グリーンベルト、畑面植生等の発生源対策や、承排水路、沈砂池、浸透池等の流出水対策に取り組みます。</p>  <p>緑肥 (畑面植生) マルチング</p>  <p>グリーンベルト 畑の勾配抑制</p> <p>農地における赤土等流出防止対策の事例 出典：沖縄県パンフレット</p>	

分野：水環境・水資源	大項目：水資源	小項目：河川
影響：大雨の増加	適応策	
・入域観光客数の増加に伴い水使用量が増加すると予想される中、気候変動による無降水日の増加により水不足が発生することが懸念されています。	<p>・海水淡水化施設を導入する等、渇水対策、災害時の水資源対策に努めます。</p>  <p>可搬型海水淡水化装置 (外観)</p>  <p>可搬型海水淡水化装置 (内部)</p> <p>出典：沖縄県企業局HP</p>	

112

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

1

分野：水環境・水資源

大項目：水環境

小項目：河川

影響：降水量の増加

・ 降雨強度の高い降雨の増加により、河川を通じて海域への赤土等流出量の増加が懸念されています。

河川から海域へ流出する赤土等

赤土等が堆積した海域

出典：第2次沖縄県赤土等流出防止対策基本計画 令和5年3月（沖縄県）

適応策

・ 水質の常時監視を行うとともに、気候変動にともなう変化が検討できるようデータの蓄積を行っていきます。

年間最大 SPSS ランク 6 以上の海域数の推移、年間総雨量の推移

※SPSS とは、沿岸域における汚染度の評価指標で、底質中懸濁物質量を示す(Suspended Particles in Sea Sediment: SPSS)。

SPSS ランクと対応する底質状況その他参考事項

SPSS		kg/m ³	底質状況その他参考事項
下 限	上 限		
1	2	<0.4	水中で砂をかき混ぜてもほとんど濁らない。白砂がひらがり生物活動はあまり見られない。
0.4 ≤	2	<1	
1 ≤	3	<5	水中で砂をかき混ぜると懸濁物質の舞い上がりを確認しにくい。白砂がひらがり生物活動はあまり見られない。
5 ≤	4	<10	水中で砂をかき混ぜると懸濁物質の舞い上がりが確認できる。生き生きとしたサンゴ礁生態系が見られる。透明度良好。
10 ≤	5a	<30	見えないほど濁るが、水中で砂をかき混ぜると懸濁物質で海が濁る。生き生きとしたサンゴ礁生態系が見られる。透明度良好。
30 ≤	5b	<50	注意して見ると、底質表面に懸濁物質の存在がわかる。生き生きとしたサンゴ礁生態系のSPSS上層ランク。
50 ≤	6	<200	底質表面に細かい砂の懸濁物質がわかる。透明度が低くなりサンゴ礁に悪影響が出始める。
200 ≤	7	<400	一見して赤土等の堆積がわかる。底質堆積で赤土等が色濃く懸濁。ランク6以上は、明らかに人為的な赤土等の流出による汚染があると判断。
400 ≤	8		干潮では底質の塊がくっきり。赤土等の堆積が著しいがまだ砂を確認できる。樹枝状ミドリシ類の大きな群集は見られず、塊状サンゴの出現割合増加。
			立つと足がめり込む。見た目は泥そのもので砂を確認できない。赤土汚染懸念のある塊状サンゴが砂漠のサボテンのように存在。

出典：令和4年度 赤土等流出防止対策検討事業調査結果（沖縄県）

128

分野：水環境・水資源

大項目：水環境

小項目：河川

影響：降水量の増加

・気候変動による降水量の増加は土砂の流出量を増加させ、河川水中の濁度の上昇をもたらす可能性があります。

河川へ流出する赤土等

海へ流入し拡散して堆積する赤土等

出典：沖縄県赤土等流出防止対策基本計画 平成25年9月（沖縄県）

適応策

・赤土等堆積状況等モニタリングなどで、水環境の情報収集に取り組みます。

年間最大SPSSランク6以上の海域数の推移、年間総雨量の推移

※SPSSとは、沿岸域における汚染度の評価指標で、懸濁中懸濁物質量を示す(Suspended Particles in Sea Sediment: SPSS)。

SPSSランクと対応する底質状況その他参考事項

SPSS kg/m³		底質状況その他参考事項	
下 限	上 限		
	1	<0.4	水中で砂をかき混ぜてもほとんど濁らない。 白砂がひらがり生物活動はあまり見られない。
0.4 ≤	2	<1	水中で砂をかき混ぜても懸濁物質の舞い上がりを確認しにくい。 白砂がひらがり生物活動はあまり見られない。
1 ≤	3	<5	水中で砂をかき混ぜると懸濁物質の舞い上がりが確認できる。 生き生きとしたサンゴ礁生態系が見られる。
5 ≤	4	<10	見えないほど濁るが、水中で砂をかき混ぜると懸濁物質で海が濁る。 生き生きとしたサンゴ礁生態系が見られる。透明度良好。
10 ≤	5a	<30	注意して見ると、底質表面に懸濁物質の存在がわかる。 生き生きとしたサンゴ礁生態系のSPSS上層ランク。
30 ≤	5b	<50	底質表面に細かい砂の懸濁物質がわかる。 透明度が低くなりサンゴ礁に悪影響が出始める。
50 ≤	6	<200	一見して赤土等の堆積がわかる。底質堆積で赤土等が色濃く懸濁。 ランク6以上は、明らかに人為的な赤土等の流出による汚染があると判断。
200 ≤	7	<400	干潮では乾底の様相がくっきり。赤土等の堆積が著しいがまだ砂を確認できる。 樹枝状ミドリシ類の大きな群集は見られず、塊状サンゴの出現割合増加。
400 ≤	8		立つと足がめり込む。見た目は泥そのもので砂を確認できない。 赤土汚染懸念のある塊状サンゴが砂漠のサボテンのように存在。

出典：平成31年度（2019年度）赤土等流出防止海域モニタリング調査結果（沖縄県）

113

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

1

分野：自然災害	大項目：河川	小項目：洪水・内水
影響：集中豪雨 <ul style="list-style-type: none"> 土地開発による透水面積の低下が進み、雨水流出が増大し、集中豪雨による水害が多発することが懸念されています。 	適応策 <ul style="list-style-type: none"> 洪水被害を防御するため河川改修による流下能力の向上やダムによる流量制御を行い、ピーク流量の軽減に取り組み、河川改修と並行して、河川の浸透に取り組みます。 	
 <p>河川氾濫状況 (安瀬川 R6 年)</p>  <p>河川氾濫状況 (比地川 R6 年)</p>	 <p>河川整備状況 (我部祖河川 写真左：改修前 写真右：改修後)</p>  <p>河川整備状況 (板得川 写真左：改修前 写真右：改修後)</p> <p>出典：沖縄県</p>	
分野：自然災害	大項目：沿岸	小項目：海面上昇
影響：海面水位上昇 <ul style="list-style-type: none"> 気候変動に伴い海面水位の上昇が進んだ場合、砂浜消失が懸念されるほか、津波や高潮による危害の区域を見直す影響があります。 	適応策 <ul style="list-style-type: none"> 津波・高潮浸水想定、津波・高潮災害警戒区域の設定を行い、市町村が行うハザードマップの策定の基礎資料提供に取り組みます。 	
	 <p>■津波法に基づく津波浸水想定 (那覇市の一部)</p> <p>■津波災害警戒区域 (津波法に基づく津波浸水想定区域を基本として設定)</p> <p>基準水位 0.4 [単位:m]</p> <p>出典：沖縄県 H P</p>	

129

分野：自然災害	大項目：河川	小項目：洪水・内水
影響：集中豪雨 <ul style="list-style-type: none"> 土地開発による透水面積の低下が進み、雨水流出が増大し、集中豪雨による水害が多発することが懸念されています。 	適応策 <ul style="list-style-type: none"> 洪水被害を防御するため河川改修による流下能力の向上やダムによる流量制御を行い、ピーク流量の軽減に取り組みます。 	
 <p>河川氾濫状況 (清名川 H24 年)</p>  <p>河川氾濫状況 (有銘川 H24 年)</p>	 <p>河川整備状況 (鏡波川 写真左：改修前 写真右：改修後)</p>  <p>河川整備状況 (比地川 写真左：改修前 写真右：改修後)</p> <p>出典：沖縄県における水害土砂災害対策等の推進の進め方 令和 2 年 8 月 総合流域防災協議会 (沖縄総合事務局・沖縄県)</p>	

分野：自然災害	大項目：沿岸	小項目：海面上昇
影響：海面水位上昇 <ul style="list-style-type: none"> 気候変動に伴い海面水位の上昇が進んだ場合、砂浜消失が懸念されるほか、津波や高潮による危害の区域を見直す影響があります。 	適応策 <ul style="list-style-type: none"> 津波・高潮浸水想定、津波・高潮災害警戒区域の設定を行い、市町村が行うハザードマップの策定の基礎資料提供に取り組みます。 	
	 <p>■津波法に基づく津波浸水想定 (那覇市の一部)</p> <p>■津波災害警戒区域 (津波法に基づく津波浸水想定区域を基本として設定)</p> <p>基準水位 0.4 [単位:m]</p> <p>出典：沖縄県 H P</p>	

114







新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

1	<table><tr><th data-bbox="262 261 562 287">分野：自然生態系</th><th data-bbox="562 261 728 287">大項目：沿岸生態系</th><th data-bbox="728 261 974 287">小項目：亜熱帯</th></tr><tr><td data-bbox="262 287 562 713"><table><tr><th data-bbox="262 287 562 311">影響：海水温の上昇</th></tr><tr><td data-bbox="262 311 562 713"><p>・海水温の上昇により、亜熱帯性サンゴの白化現象の頻度が増大しています。2022 年、2024 年には海水温の上昇によるサンゴの白化現象が見られています。</p><p>白化したサンゴの様子 (2024 年 9 月) (石西礁湖調査地点)</p></td></tr></table><p>出典：石西礁湖自然再生ニュースレター2025.3 Vol35 (石西礁湖自然再生協議会運営事務局)</p></td><td data-bbox="562 287 728 713"><table><tr><th data-bbox="562 287 728 311">適応策</th></tr><tr><td data-bbox="562 311 728 713"><p>・サンゴ種苗等の白化現象による死亡が起こりにくい環境条件の解明、白化に強いサンゴの遺伝学的分析、遮光等による白化軽減技術の開発等に取り組みます。</p><p>サンゴの深場への避難による高水温対策試験等の様子 (石西礁湖調査地点)</p></td></tr></table></td></tr></table>	分野：自然生態系	大項目：沿岸生態系	小項目：亜熱帯	<table><tr><th data-bbox="262 287 562 311">影響：海水温の上昇</th></tr><tr><td data-bbox="262 311 562 713"><p>・海水温の上昇により、亜熱帯性サンゴの白化現象の頻度が増大しています。2022 年、2024 年には海水温の上昇によるサンゴの白化現象が見られています。</p><p>白化したサンゴの様子 (2024 年 9 月) (石西礁湖調査地点)</p></td></tr></table> <p>出典：石西礁湖自然再生ニュースレター2025.3 Vol35 (石西礁湖自然再生協議会運営事務局)</p>	影響：海水温の上昇	<p>・海水温の上昇により、亜熱帯性サンゴの白化現象の頻度が増大しています。2022 年、2024 年には海水温の上昇によるサンゴの白化現象が見られています。</p>  <p>白化したサンゴの様子 (2024 年 9 月) (石西礁湖調査地点)</p>	<table><tr><th data-bbox="562 287 728 311">適応策</th></tr><tr><td data-bbox="562 311 728 713"><p>・サンゴ種苗等の白化現象による死亡が起こりにくい環境条件の解明、白化に強いサンゴの遺伝学的分析、遮光等による白化軽減技術の開発等に取り組みます。</p><p>サンゴの深場への避難による高水温対策試験等の様子 (石西礁湖調査地点)</p></td></tr></table>	適応策	<p>・サンゴ種苗等の白化現象による死亡が起こりにくい環境条件の解明、白化に強いサンゴの遺伝学的分析、遮光等による白化軽減技術の開発等に取り組みます。</p>  <p>サンゴの深場への避難による高水温対策試験等の様子 (石西礁湖調査地点)</p>	<table><tr><th data-bbox="262 713 562 738">分野：国民生活・都市生活</th><th data-bbox="562 713 728 738">大項目：その他</th><th data-bbox="728 713 974 738">小項目：暑熱による生活への影響</th></tr><tr><td data-bbox="262 738 562 1369"><table><tr><th data-bbox="262 738 562 764">影響：気温の上昇</th></tr><tr><td data-bbox="262 764 562 1369"><p>・将来的に気温上昇による熱中症の増加の可能性があります。</p></td></tr></table></td><td data-bbox="562 738 728 1369"><table><tr><th data-bbox="562 738 728 764">適応策</th></tr><tr><td data-bbox="562 764 728 1369"><p>・環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の創出、レクリエーション活動の場として都市公園の整備に取り組みます。</p><p>比謝川の水辺空間と一体となった公園緑地</p><p>自然林が残る丘陵を利用した公園 (浦添大公園)</p><p>名護市街地に隣接する21世紀の森公園 (名護浦公園)</p></td></tr></table><p>出典：沖縄県広域緑地計画 (2018年・沖縄県)</p></td><td data-bbox="728 738 974 1369"></td></tr></table>	分野：国民生活・都市生活	大項目：その他	小項目：暑熱による生活への影響	<table><tr><th data-bbox="262 738 562 764">影響：気温の上昇</th></tr><tr><td data-bbox="262 764 562 1369"><p>・将来的に気温上昇による熱中症の増加の可能性があります。</p></td></tr></table>	影響：気温の上昇	<p>・将来的に気温上昇による熱中症の増加の可能性があります。</p>	<table><tr><th data-bbox="562 738 728 764">適応策</th></tr><tr><td data-bbox="562 764 728 1369"><p>・環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の創出、レクリエーション活動の場として都市公園の整備に取り組みます。</p><p>比謝川の水辺空間と一体となった公園緑地</p><p>自然林が残る丘陵を利用した公園 (浦添大公園)</p><p>名護市街地に隣接する21世紀の森公園 (名護浦公園)</p></td></tr></table> <p>出典：沖縄県広域緑地計画 (2018年・沖縄県)</p>	適応策	<p>・環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の創出、レクリエーション活動の場として都市公園の整備に取り組みます。</p>  <p>比謝川の水辺空間と一体となった公園緑地</p>  <p>自然林が残る丘陵を利用した公園 (浦添大公園)</p>  <p>名護市街地に隣接する21世紀の森公園 (名護浦公園)</p>	
分野：自然生態系	大項目：沿岸生態系	小項目：亜熱帯																			
<table><tr><th data-bbox="262 287 562 311">影響：海水温の上昇</th></tr><tr><td data-bbox="262 311 562 713"><p>・海水温の上昇により、亜熱帯性サンゴの白化現象の頻度が増大しています。2022 年、2024 年には海水温の上昇によるサンゴの白化現象が見られています。</p><p>白化したサンゴの様子 (2024 年 9 月) (石西礁湖調査地点)</p></td></tr></table> <p>出典：石西礁湖自然再生ニュースレター2025.3 Vol35 (石西礁湖自然再生協議会運営事務局)</p>	影響：海水温の上昇	<p>・海水温の上昇により、亜熱帯性サンゴの白化現象の頻度が増大しています。2022 年、2024 年には海水温の上昇によるサンゴの白化現象が見られています。</p>  <p>白化したサンゴの様子 (2024 年 9 月) (石西礁湖調査地点)</p>	<table><tr><th data-bbox="562 287 728 311">適応策</th></tr><tr><td data-bbox="562 311 728 713"><p>・サンゴ種苗等の白化現象による死亡が起こりにくい環境条件の解明、白化に強いサンゴの遺伝学的分析、遮光等による白化軽減技術の開発等に取り組みます。</p><p>サンゴの深場への避難による高水温対策試験等の様子 (石西礁湖調査地点)</p></td></tr></table>	適応策	<p>・サンゴ種苗等の白化現象による死亡が起こりにくい環境条件の解明、白化に強いサンゴの遺伝学的分析、遮光等による白化軽減技術の開発等に取り組みます。</p>  <p>サンゴの深場への避難による高水温対策試験等の様子 (石西礁湖調査地点)</p>																
影響：海水温の上昇																					
<p>・海水温の上昇により、亜熱帯性サンゴの白化現象の頻度が増大しています。2022 年、2024 年には海水温の上昇によるサンゴの白化現象が見られています。</p>  <p>白化したサンゴの様子 (2024 年 9 月) (石西礁湖調査地点)</p>																					
適応策																					
<p>・サンゴ種苗等の白化現象による死亡が起こりにくい環境条件の解明、白化に強いサンゴの遺伝学的分析、遮光等による白化軽減技術の開発等に取り組みます。</p>  <p>サンゴの深場への避難による高水温対策試験等の様子 (石西礁湖調査地点)</p>																					
分野：国民生活・都市生活	大項目：その他	小項目：暑熱による生活への影響																			
<table><tr><th data-bbox="262 738 562 764">影響：気温の上昇</th></tr><tr><td data-bbox="262 764 562 1369"><p>・将来的に気温上昇による熱中症の増加の可能性があります。</p></td></tr></table>	影響：気温の上昇	<p>・将来的に気温上昇による熱中症の増加の可能性があります。</p>	<table><tr><th data-bbox="562 738 728 764">適応策</th></tr><tr><td data-bbox="562 764 728 1369"><p>・環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の創出、レクリエーション活動の場として都市公園の整備に取り組みます。</p><p>比謝川の水辺空間と一体となった公園緑地</p><p>自然林が残る丘陵を利用した公園 (浦添大公園)</p><p>名護市街地に隣接する21世紀の森公園 (名護浦公園)</p></td></tr></table> <p>出典：沖縄県広域緑地計画 (2018年・沖縄県)</p>	適応策	<p>・環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の創出、レクリエーション活動の場として都市公園の整備に取り組みます。</p>  <p>比謝川の水辺空間と一体となった公園緑地</p>  <p>自然林が残る丘陵を利用した公園 (浦添大公園)</p>  <p>名護市街地に隣接する21世紀の森公園 (名護浦公園)</p>																
影響：気温の上昇																					
<p>・将来的に気温上昇による熱中症の増加の可能性があります。</p>																					
適応策																					
<p>・環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の創出、レクリエーション活動の場として都市公園の整備に取り組みます。</p>  <p>比謝川の水辺空間と一体となった公園緑地</p>  <p>自然林が残る丘陵を利用した公園 (浦添大公園)</p>  <p>名護市街地に隣接する21世紀の森公園 (名護浦公園)</p>																					

130

<table><tr><th data-bbox="1267 255 1550 279">分野：自然生態系</th><th data-bbox="1550 255 1713 279">大項目：沿岸生態系</th><th data-bbox="1713 255 1995 279">小項目：亜熱帯</th></tr><tr><td data-bbox="1267 279 1550 748"><table><tr><th data-bbox="1267 279 1550 304">影響：海水温の上昇</th></tr><tr><td data-bbox="1267 304 1550 748"><p>・高水温によるサンゴの白化現象、集中豪雨による赤土等流出が、サンゴ礁生態系に影響を及ぼすことが懸念されています。</p><p>白化したサンゴの様子</p></td></tr></table></td><td data-bbox="1550 279 1713 748"></td><td data-bbox="1713 279 1995 748"><table><tr><th data-bbox="1713 279 1995 304">適応策</th></tr><tr><td data-bbox="1713 304 1995 748"><p>・サンゴ種苗等の白化現象による死亡が起こりにくい環境条件の解明、白化に強いサンゴの遺伝学的分析、遮光等による白化軽減技術の開発等に取り組みます。</p><p>遮光による白化軽減技術の開発等を行っている様子 写真：沖縄県より (前年2016年)</p></td></tr></table></td></tr></table>	分野：自然生態系	大項目：沿岸生態系	小項目：亜熱帯	<table><tr><th data-bbox="1267 279 1550 304">影響：海水温の上昇</th></tr><tr><td data-bbox="1267 304 1550 748"><p>・高水温によるサンゴの白化現象、集中豪雨による赤土等流出が、サンゴ礁生態系に影響を及ぼすことが懸念されています。</p><p>白化したサンゴの様子</p></td></tr></table>	影響：海水温の上昇	<p>・高水温によるサンゴの白化現象、集中豪雨による赤土等流出が、サンゴ礁生態系に影響を及ぼすことが懸念されています。</p>  <p>白化したサンゴの様子</p>		<table><tr><th data-bbox="1713 279 1995 304">適応策</th></tr><tr><td data-bbox="1713 304 1995 748"><p>・サンゴ種苗等の白化現象による死亡が起こりにくい環境条件の解明、白化に強いサンゴの遺伝学的分析、遮光等による白化軽減技術の開発等に取り組みます。</p><p>遮光による白化軽減技術の開発等を行っている様子 写真：沖縄県より (前年2016年)</p></td></tr></table>	適応策	<p>・サンゴ種苗等の白化現象による死亡が起こりにくい環境条件の解明、白化に強いサンゴの遺伝学的分析、遮光等による白化軽減技術の開発等に取り組みます。</p>  <p>遮光による白化軽減技術の開発等を行っている様子 写真：沖縄県より (前年2016年)</p>	<table><tr><th data-bbox="1267 748 1550 774">分野：国民生活・都市生活</th><th data-bbox="1550 748 1713 774">大項目：その他</th><th data-bbox="1713 748 1995 774">小項目：暑熱による生活への影響</th></tr><tr><td data-bbox="1267 774 1550 1425"><table><tr><th data-bbox="1267 774 1550 799">影響：気温の上昇</th></tr><tr><td data-bbox="1267 799 1550 1425"><p>・将来的に気温上昇による熱中症の増加の可能性があります。</p></td></tr></table></td><td data-bbox="1550 774 1713 1425"></td><td data-bbox="1713 774 1995 1425"><table><tr><th data-bbox="1713 774 1995 799">適応策</th></tr><tr><td data-bbox="1713 799 1995 1425"><p>・環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の創出、レクリエーション活動の場として都市公園の整備に取り組みます。</p><p>比謝川の水辺空間と一体となった公園緑地</p><p>自然林が残る丘陵を利用した公園 (浦添大公園)</p><p>名護市街地に隣接する21世紀の森公園 (名護浦公園)</p></td></tr></table><p>出典：沖縄県広域緑地計画 (2018年・沖縄県)</p></td></tr></table>	分野：国民生活・都市生活	大項目：その他	小項目：暑熱による生活への影響	<table><tr><th data-bbox="1267 774 1550 799">影響：気温の上昇</th></tr><tr><td data-bbox="1267 799 1550 1425"><p>・将来的に気温上昇による熱中症の増加の可能性があります。</p></td></tr></table>	影響：気温の上昇	<p>・将来的に気温上昇による熱中症の増加の可能性があります。</p>		<table><tr><th data-bbox="1713 774 1995 799">適応策</th></tr><tr><td data-bbox="1713 799 1995 1425"><p>・環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の創出、レクリエーション活動の場として都市公園の整備に取り組みます。</p><p>比謝川の水辺空間と一体となった公園緑地</p><p>自然林が残る丘陵を利用した公園 (浦添大公園)</p><p>名護市街地に隣接する21世紀の森公園 (名護浦公園)</p></td></tr></table> <p>出典：沖縄県広域緑地計画 (2018年・沖縄県)</p>	適応策	<p>・環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の創出、レクリエーション活動の場として都市公園の整備に取り組みます。</p>  <p>比謝川の水辺空間と一体となった公園緑地</p>  <p>自然林が残る丘陵を利用した公園 (浦添大公園)</p>  <p>名護市街地に隣接する21世紀の森公園 (名護浦公園)</p>
分野：自然生態系	大項目：沿岸生態系	小項目：亜熱帯																			
<table><tr><th data-bbox="1267 279 1550 304">影響：海水温の上昇</th></tr><tr><td data-bbox="1267 304 1550 748"><p>・高水温によるサンゴの白化現象、集中豪雨による赤土等流出が、サンゴ礁生態系に影響を及ぼすことが懸念されています。</p><p>白化したサンゴの様子</p></td></tr></table>	影響：海水温の上昇	<p>・高水温によるサンゴの白化現象、集中豪雨による赤土等流出が、サンゴ礁生態系に影響を及ぼすことが懸念されています。</p>  <p>白化したサンゴの様子</p>		<table><tr><th data-bbox="1713 279 1995 304">適応策</th></tr><tr><td data-bbox="1713 304 1995 748"><p>・サンゴ種苗等の白化現象による死亡が起こりにくい環境条件の解明、白化に強いサンゴの遺伝学的分析、遮光等による白化軽減技術の開発等に取り組みます。</p><p>遮光による白化軽減技術の開発等を行っている様子 写真：沖縄県より (前年2016年)</p></td></tr></table>	適応策	<p>・サンゴ種苗等の白化現象による死亡が起こりにくい環境条件の解明、白化に強いサンゴの遺伝学的分析、遮光等による白化軽減技術の開発等に取り組みます。</p>  <p>遮光による白化軽減技術の開発等を行っている様子 写真：沖縄県より (前年2016年)</p>															
影響：海水温の上昇																					
<p>・高水温によるサンゴの白化現象、集中豪雨による赤土等流出が、サンゴ礁生態系に影響を及ぼすことが懸念されています。</p>  <p>白化したサンゴの様子</p>																					
適応策																					
<p>・サンゴ種苗等の白化現象による死亡が起こりにくい環境条件の解明、白化に強いサンゴの遺伝学的分析、遮光等による白化軽減技術の開発等に取り組みます。</p>  <p>遮光による白化軽減技術の開発等を行っている様子 写真：沖縄県より (前年2016年)</p>																					
分野：国民生活・都市生活	大項目：その他	小項目：暑熱による生活への影響																			
<table><tr><th data-bbox="1267 774 1550 799">影響：気温の上昇</th></tr><tr><td data-bbox="1267 799 1550 1425"><p>・将来的に気温上昇による熱中症の増加の可能性があります。</p></td></tr></table>	影響：気温の上昇	<p>・将来的に気温上昇による熱中症の増加の可能性があります。</p>		<table><tr><th data-bbox="1713 774 1995 799">適応策</th></tr><tr><td data-bbox="1713 799 1995 1425"><p>・環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の創出、レクリエーション活動の場として都市公園の整備に取り組みます。</p><p>比謝川の水辺空間と一体となった公園緑地</p><p>自然林が残る丘陵を利用した公園 (浦添大公園)</p><p>名護市街地に隣接する21世紀の森公園 (名護浦公園)</p></td></tr></table> <p>出典：沖縄県広域緑地計画 (2018年・沖縄県)</p>	適応策	<p>・環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の創出、レクリエーション活動の場として都市公園の整備に取り組みます。</p>  <p>比謝川の水辺空間と一体となった公園緑地</p>  <p>自然林が残る丘陵を利用した公園 (浦添大公園)</p>  <p>名護市街地に隣接する21世紀の森公園 (名護浦公園)</p>															
影響：気温の上昇																					
<p>・将来的に気温上昇による熱中症の増加の可能性があります。</p>																					
適応策																					
<p>・環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の創出、レクリエーション活動の場として都市公園の整備に取り組みます。</p>  <p>比謝川の水辺空間と一体となった公園緑地</p>  <p>自然林が残る丘陵を利用した公園 (浦添大公園)</p>  <p>名護市街地に隣接する21世紀の森公園 (名護浦公園)</p>																					


115

新 旧 対 照 表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

1

分野：普及啓発	大項目：暑熱	小項目：熱中症		
影響：気温の上昇	適応策			
<p>・気温上昇により心血管疾患による死亡者数が増加すると、2030年、2050年に暑熱による高齢者の死亡者数が増加することが予測されています。</p> <p>・啓発チラシの作成。県内広報誌への記載、web サイト上での暑さ指数の公表等により、熱中症対策に係る情報を県民に周知します。</p>				
				
熱中症対策チラシ				

出典：沖縄県HP

県内の熱中症救急搬送者人数（6月～9月集計分）												
	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
沖縄県	771	786	747	932	1,236	732	806	864	720	1,005	1,002	1,393
(参考)全国	58,729	40,048	52,848	47,824	49,682	92,710	85,868	64,889	48,251	68,361	87,812	94,779

※総務省消防庁が公表している資料では、各年5月～9月で集計を行っている。



年度	沖縄県	全国
2013 (H25)	1.0	1.0
2014 (H26)	0.9	0.8
2015 (H27)	0.9	0.9
2016 (H28)	1.1	0.8
2017 (H29)	1.6	0.8
2018 (H30)	0.9	1.6
2019 (R1)	1.1	1.1
2020 (R2)	1.0	1.0
2021 (R3)	0.8	0.8
2022 (R4)	1.3	1.2
2023 (R5)	1.3	1.4
2024 (R6)	1.8	1.6

県内の熱中症救急搬送者人数（6月～9月集計分）の変化率（※）

※各年度の全国・県の熱中症救急搬送者人数（6月～9月集計分）を2013年度の数値を除いた数値

出典：（出典：総務省消防庁Web サイト）熱中症情報（救急搬送状況）

131

分野：普及啓発

大項目：暑熱

小項目：熱中症

影響：	適応策																																																																																																			
<p>・従来の感覚での暑さ対策では不十分で、長期間にわたって健康を損ねたり、死亡事故につながる危険性が高くなっています。</p>	<p>・啓発チラシの作成、県内広報誌の記載、webサイト上での暑さ指数の公表等により、熱中症対策に係る情報を県民に周知します。</p> <div>  <p>熱中症になってしまった時の対処方法は？→</p> </div>																																																																																																			
<p>熱中症対策チラシ</p> <p>・県内23の定点病院における熱中症診断患者の数を集計し、公表を行います。</p> <div> <p>沖縄県内における熱中症による救急搬送人員比較(2020.9.19.30)</p>  <table> <tr> <th>5/19/30</th><th>出動件数</th><th>搬送人員数</th><th>男</th><th>女</th><th>死亡</th><th>重症</th><th>軽症</th><th>その他</th></tr> <tr> <td>2013年</td><td>57</td><td>57</td><td>29</td><td>12</td><td>0</td><td>1</td><td>14</td><td>33</td></tr> <tr> <td>2014年</td><td>57</td><td>57</td><td>66</td><td>11</td><td>0</td><td>3</td><td>9</td><td>44</td></tr> <tr> <td>2015年</td><td>69</td><td>69</td><td>57</td><td>12</td><td>0</td><td>0</td><td>14</td><td>53</td></tr> <tr> <td>2016年</td><td>121</td><td>122</td><td>81</td><td>31</td><td>0</td><td>2</td><td>10</td><td>109</td></tr> <tr> <td>2017年</td><td>65</td><td>68</td><td>87</td><td>19</td><td>0</td><td>0</td><td>20</td><td>47</td></tr> <tr> <td>2018年</td><td>99</td><td>100</td><td>78</td><td>21</td><td>0</td><td>0</td><td>15</td><td>84</td></tr> <tr> <td>2019年</td><td>164</td><td>164</td><td>117</td><td>47</td><td>0</td><td>3</td><td>36</td><td>124</td></tr> <tr> <td>2020年</td><td>165</td><td>161</td><td>96</td><td>62</td><td>0</td><td>2</td><td>29</td><td>133</td></tr> <tr> <td>2021年</td><td>152</td><td>152</td><td>111</td><td>42</td><td>0</td><td>3</td><td>30</td><td>120</td></tr> <tr> <td>2022年</td><td>81</td><td>81</td><td>71</td><td>20</td><td>0</td><td>0</td><td>27</td><td>54</td></tr> </table> <p>※総務省消防庁統計「救急統計システム」(熱中症・アムネジア・意識障害・熱中症サーベイランス)から引用。抽出時点の連絡先であり、消防での公表数と異なる場合があります。</p> <p>※県内18消防本部における23救急告示病院への搬送実績の数であり、県内全域の救急告示の23救急告示病院の発生状況とは異なる。</p> </div>	5/19/30	出動件数	搬送人員数	男	女	死亡	重症	軽症	その他	2013年	57	57	29	12	0	1	14	33	2014年	57	57	66	11	0	3	9	44	2015年	69	69	57	12	0	0	14	53	2016年	121	122	81	31	0	2	10	109	2017年	65	68	87	19	0	0	20	47	2018年	99	100	78	21	0	0	15	84	2019年	164	164	117	47	0	3	36	124	2020年	165	161	96	62	0	2	29	133	2021年	152	152	111	42	0	3	30	120	2022年	81	81	71	20	0	0	27	54	
5/19/30	出動件数	搬送人員数	男	女	死亡	重症	軽症	その他																																																																																												
2013年	57	57	29	12	0	1	14	33																																																																																												
2014年	57	57	66	11	0	3	9	44																																																																																												
2015年	69	69	57	12	0	0	14	53																																																																																												
2016年	121	122	81	31	0	2	10	109																																																																																												
2017年	65	68	87	19	0	0	20	47																																																																																												
2018年	99	100	78	21	0	0	15	84																																																																																												
2019年	164	164	117	47	0	3	36	124																																																																																												
2020年	165	161	96	62	0	2	29	133																																																																																												
2021年	152	152	111	42	0	3	30	120																																																																																												
2022年	81	81	71	20	0	0	27	54																																																																																												

出典：沖縄県HP

116

新 旧 対 照 表


(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

1

分野：普及啓発	大項目：その他の健康影響	小項目：その他の健康影響
影響：気温の上昇	適応策	
・気候変動の影響として、将来的に自然災害増加や気温上昇による熱中症の増加が想定されます。	・イベント・ワークショップを通して、気温上昇による熱中症対策等の普及啓発に取り組みます。	
		
熱中症対策など気候変動への影響及び対策のイベントの実施状況 (令和6年)		
写真：沖縄県より		

132

分野：普及啓発	大項目：その他の健康影響	小項目：小項目：その他の健康影響
影響：気温の上昇	適応策	
・気候変動の影響として、将来的に自然災害増加や気温上昇による熱中症の増加が想定されます。	・イベント・ワークショップを通して、気温上昇による熱中症対策等の普及啓発に取り組みます。	
		
熱中症対策など気候変動への影響及び対策のイベントの実施状況		
写真：沖縄県より		

117

新 旧 対 照 表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)	(旧) 現行計画
<div data-bbox="255 252 613 280"> <h3>3. 適応策の推進に向けた今後の課題</h3> </div> <div data-bbox="255 288 981 371"> <p>本県においては、顕在化しつつある気候変動に対し、客観的なデータに基づいた影響の予測や適応策の充実を図ることで、その影響を防止・軽減し、安全・安心で持続可能な社会を実現するための体制を構築していく必要があります。</p> </div> <div data-bbox="255 379 981 491"> <p>そのために本県では今後、気候変動による影響を迅速かつ、適切に把握するため、モニタリング等の情報を充実させるとともに、国や大学等による最新の気候変動の予測情報の収集・整理を行い、予測の確実性を高めていきます。また、県民、事業者、市町村等に最新の気候変動に関する情報提供と共有を行うことで、適応の理解や協力を深めていくこととします。</p> </div> <div data-bbox="255 499 981 582"> <p>また、日本をはじめとする世界各国が温室効果ガスの排出削減に取り組んでも、ある程度の気候変動による被害は避けられないことから、県民や事業者等の気候変動に関する理解・協力・行動変容が重要になってきます。</p> </div> <div data-bbox="255 590 981 641"> <p>現在、気候変動の影響に対する適応の認知度は高くないことから、その認知度の向上を図るとともに、気象災害への備えや熱中症対策等を行うよう、行動変容を促していく必要があります。</p> </div> <div data-bbox="255 649 981 821"> <p>このような課題に加えて、「気候変動影響評価報告書(環境省)」では、ある影響が他の影響を誘発する影響の連鎖や、異なる分野での影響が連鎖し影響の甚大化をもたらす事象を「分野間の影響の連鎖」として懸念しています。例えば、気候変動により動植物の分布域の変化や生物季節の変化など「自然生態系」への影響が生じると、その生態系から恵みを得ていた「農業・林業・水産業」に影響が及び、さらには食料品製造業といった「産業・経済活動」へも影響が連鎖する可能性があります。</p> </div> <div data-bbox="255 829 981 912"> <p>本県においても、国内もしくは海外における気候変動の影響が、最終的には本県の食糧生産や観光業への影響など、身近な生活にまで影響を及ぼす可能性があることから、この問題を県民一人一人が我が事として捉える視点を持つことが重要になります。</p> </div> <div data-bbox="600 1465 631 1490"> <p>133</p> </div>	<div data-bbox="1279 252 1637 280"> <h3>3. 適応策の推進に向けた今後の課題</h3> </div> <div data-bbox="1279 288 2004 371"> <p>本県においては、顕在化しつつある気候変動に対し、客観的なデータに基づいた影響の予測や適応策の充実を図ることで、その影響を防止・軽減し、安全・安心で持続可能な社会を実現するための体制を構築していく必要があります。</p> </div> <div data-bbox="1279 379 2004 491"> <p>そのために本県では今後、気候変動による影響を迅速かつ、適切に把握するため、モニタリング等の情報を充実させるとともに、国や大学等による最新の気候変動の予測情報の収集・整理を行い、予測の確実性を高めていきます。また、県民、事業者、市町村等に最新の気候変動に関する情報提供と共有を行うことで、適応の理解や協力を深めていくこととします。</p> </div> <div data-bbox="1279 499 2004 582"> <p>また、日本をはじめとする世界各国が温室効果ガスの排出削減に取り組んでも、ある程度の気候変動による被害は避けられないことから、県民や事業者等の気候変動に関する理解・協力・行動変容が重要になってきます。</p> </div> <div data-bbox="1279 590 2004 641"> <p>現在、気候変動の影響に対する適応の認知度は高くないことから、その認知度の向上を図るとともに、気象災害への備えや熱中症対策等を行うよう、行動変容を促していく必要があります。</p> </div> <div data-bbox="1279 649 2004 821"> <p>このような課題に加えて、「気候変動影響評価報告書(環境省)」では、ある影響が他の影響を誘発する影響の連鎖や、異なる分野での影響が連鎖し影響の甚大化をもたらす事象を「分野間の影響の連鎖」として懸念しています。例えば、気候変動により動植物の分布域の変化や生物季節の変化など「自然生態系」への影響が生じると、その生態系から恵みを得ていた「農業・林業・水産業」に影響が及び、さらには食料品製造業といった「産業・経済活動」へも影響が連鎖する可能性があります。</p> </div> <div data-bbox="1279 829 2004 912"> <p>本県においても、国内もしくは海外における気候変動の影響が、最終的には本県の食糧生産や観光業への影響など、身近な生活にまで影響を及ぼす可能性があることから、この問題を県民一人一人が我が事として捉える視点を持つことが重要になります。</p> </div> <div data-bbox="1619 1465 1650 1490"> <p>118</p> </div>

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

第3章 推進体制・進捗管理

1. 推進体制

(1) 県庁内の体制

気候変動の影響は多岐にわたり、その影響に対する脆弱性についても様々であることから、本県の関係部局が連携し、総合的かつ計画的に推進していく必要があります。

そのため、本県の実情に応じた適応策の推進について協議することを目的とした「沖縄県気候変動適応計画協議会」(以下「適応協議会」という。)を設置し、適応協議会において、気候変動の影響等について情報共有を図るとともに、関係部局と連携・調整し、進捗状況等を踏まえて適応策を推進します。

(2) 地域気候変動適応センターの設置・運営

気候変動適応法第13条第1項の規定に基づき「沖縄県気候変動適応センター」を設置・運営し、県内の気候変動の影響や適応に関する情報の収集・整理・分析等を行っています。県民、事業者、市町村等へ情報提供を通じ、各主体の適応への取組を一層促進する拠点としての機能を果たしています。

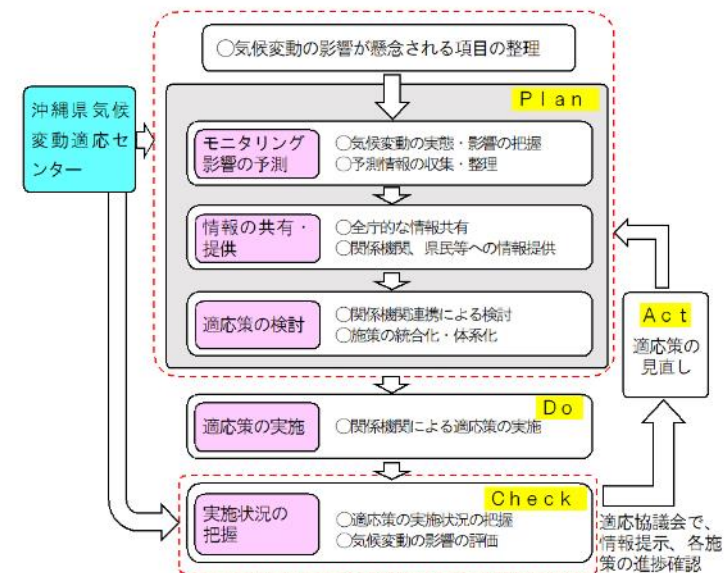


図3-3-1 適応策の進め方

第3章 推進体制・進捗管理

1. 推進体制

(1) 県庁内の体制

気候変動の影響は多岐にわたり、その影響に対する脆弱性についても様々であることから、本県の関係部局が連携し、総合的かつ計画的に推進していく必要があります。

そのため、本県の実情に応じた適応策の推進について協議することを目的とした「沖縄県気候変動適応計画協議会」(以下「適応協議会」という。)を設置し、適応協議会において、気候変動の影響等について情報共有を図るとともに、関係部局と連携・調整し、進捗状況等を踏まえて適応策を推進します。

(2) 地域気候変動適応センターの設置

気候変動適応法第13条第1項の規定に基づく「地域気候変動適応センター」を設置し、同センターが県内の気候変動の影響や適応に関する情報の収集・整理・分析等を実施し、県民、事業者、市町村等へ情報提供を行い各主体の適応への取組を一層促進する拠点としての機能を担っていきます。

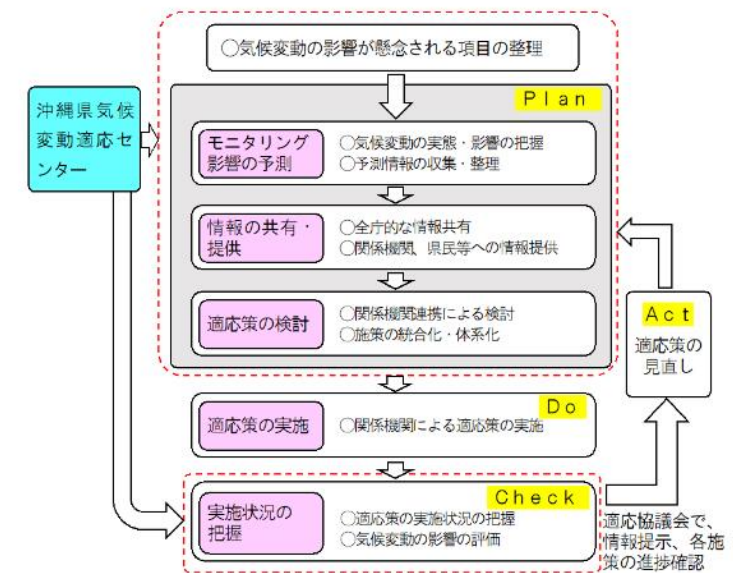


図3-3-1 適応策の進め方

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)	(旧) 現行計画
<div data-bbox="264 252 985 284"> <h2>2. 各主体の役割</h2> </div> <div data-bbox="264 292 985 347"> <p>適応策の推進には、県、市町村、事業者、県民の各主体が、それぞれの役割を担いながら、相互に密接に連携して取り組む必要があります。各主体に求められる役割は以下のとおりです。</p> </div> <div data-bbox="264 379 380 403"> <h3>(1) 県の役割</h3> </div> <div data-bbox="264 411 985 707"> <ul style="list-style-type: none"> ・国の気候変動適応計画を踏まえ、沖縄県気候変動適応計画を策定（改訂）しており、地域の特性に応じた適応策を推進します。 ・適応計画には、本県における気候変動のリスク、適応に関する情報、取組を反映させ、沖縄県気候変動適応センターを核として、県民、事業者、市町村、観光客等への気候変動に関する情報を積極的に発信していきます。 ・様々な主体と連携した取組を強化し、気候変動の影響による被害の防止・軽減につなげます。 ・県民、企業、教育現場など様々な対象に向けて、各種イベントや出前講座などを通じて、気候変動適応に関する環境教育、広報活動及び普及啓発に取り組みます。 ・関係部局で連携し、それぞれの部局で実施されている各適応策を総合的に取りまとめ展開していきます。 </div> <div data-bbox="264 738 414 762"> <h3>(2) 市町村の役割</h3> </div> <div data-bbox="264 770 985 946"> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域での気候変動の影響把握や適応策の整理を行い、また、住民に最も身近な地方公共団体として地域の特性に応じた適応策を推進します。 ・適応策を推進するため、住民・事業者等の活動を支援します。 ・適応策の進捗状況を確認・検証し施策を展開していくなど、適応策の進捗管理を行います。 ・地域の住民に最も身近な地方公共団体として、地域の特性に応じた適応策を推進します。 ・地域住民・事業者・観光客等への地域の気候変動に関する情報を積極的に発信していきます。 </div> <div data-bbox="264 978 414 1002"> <h3>(3) 事業者の役割</h3> </div> <div data-bbox="264 1010 985 1185"> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの事業活動を円滑に実施するため、国、県、市町村等が情報提供する気候変動や適応策に関する理解を深めます。 ・それぞれの事業活動の内容に即した適応策を推進するよう努めます。 ・将来の気候変動を見据え、適応の観点を組み込んだ事業展開を行っていきます。 ・気候変動はリスクだけではなく新たなビジネスチャンスとしての側面もあることから、気候変動への戦略的な適応を進めます。 </div> <div data-bbox="264 1217 414 1241"> <h3>(4) 県民の役割</h3> </div> <div data-bbox="264 1249 985 1361"> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における気候変動の影響と適応の重要性に対する関心と理解を深めます。 ・県及び市町村が提供する防災情報や熱中症・感染症等の情報を収集・活用し、適切な行動に取り組みます。 ・ライフスタイルの見直しを意識し、気候変動に適応した行動を実践します。 </div>	<div data-bbox="1281 252 2002 284"> <h2>2. 各主体の役割</h2> </div> <div data-bbox="1281 292 2002 347"> <p>適応策の推進には、県、市町村、事業者、県民の各主体が、それぞれの役割を担いながら、相互に密接に連携して取り組む必要があります。各主体に求められる役割は以下のとおりです。</p> </div> <div data-bbox="1281 379 1397 403"> <h3>(1) 県の役割</h3> </div> <div data-bbox="1281 411 2002 707"> <ul style="list-style-type: none"> ・国の気候変動適応計画を踏まえ、地域気候変動適応計画を策定し、地域の特性に応じた適応策を推進します。 ・適応計画には、本県における気候変動のリスク、適応に関する情報、取組を反映させ、沖縄県気候変動適応センターを核として、県民、事業者、市町村、観光客等への気候変動に関する情報を積極的に発信していきます。 ・様々な主体と連携した取組を強化し、気候変動の影響による被害の防止・軽減につなげます。 ・県民、企業、教育現場など様々な対象に向けて、各種イベントや出前講座などを通じて、気候変動適応に関する環境教育、広報活動及び普及啓発に取り組みます。 ・関係部局で連携し、それぞれの部局で実施されている各適応策を総合的に取りまとめ展開していきます。 </div> <div data-bbox="1281 738 1431 762"> <h3>(2) 市町村の役割</h3> </div> <div data-bbox="1281 770 2002 946"> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域での気候変動の影響把握や適応策の整理を行い、また、住民に最も身近な地方公共団体として地域の特性に応じた適応策を推進します。 ・適応策を推進するため、住民・事業者等の活動を支援します。 ・適応策の進捗状況を確認・検証し施策を展開していくなど、適応策の進捗管理を行います。 ・地域の住民に最も身近な地方公共団体として、地域の特性に応じた適応策を推進します。 ・地域住民・事業者・観光客等への地域の気候変動に関する情報を積極的に発信していきます。 </div> <div data-bbox="1281 978 1431 1002"> <h3>(3) 事業者の役割</h3> </div> <div data-bbox="1281 1010 2002 1185"> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの事業活動を円滑に実施するため、国、県、市町村等が情報提供する気候変動や適応策に関する理解を深めます。 ・それぞれの事業活動の内容に即した適応策を推進するよう努めます。 ・将来の気候変動を見据え、適応の観点を組み込んだ事業展開を行っていきます。 ・気候変動はリスクだけではなく新たなビジネスチャンスとしての側面もあることから、気候変動への戦略的な適応を進めます。 </div> <div data-bbox="1281 1217 1431 1241"> <h3>(4) 県民の役割</h3> </div> <div data-bbox="1281 1249 2002 1361"> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における気候変動の影響と適応の重要性に対する関心と理解を深めます。 ・県及び市町村が提供する防災情報や熱中症・感染症等の情報を収集・活用し、適切な行動に取り組みます。 ・ライフスタイルの見直しを意識し、気候変動に適応した行動を実践します。 </div>

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)	(旧) 現行計画
<div data-bbox="226 252 248 1315"> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 </div> <div data-bbox="277 239 996 1315"> <div data-bbox="300 239 974 279"> <p>県民・事業者の具体的取組</p> </div> <p>気候変動に適應できる社会の実現には、行政の施策だけではなく、県民や事業者の理解と協力が必要です。</p> <p>また、気候変動による影響を踏まえ、ライフスタイルや事業活動のあり方を見直すことは、生活を守り、ビジネスを継続・発展させることにも繋がります。</p> <p>そのため、県民や事業者においては、気候変動の影響への備えとともに新たな気候条件を利用するなど、次のような具体的な取組を進めていくことが期待されます。</p> <div data-bbox="300 499 974 783"> <p>県民の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真夏日や熱帯夜の増加に備え、これまでの経験にとらわれず、昼夜を問わず熱中症に注意しましょう。 ・涼しい服装やマイボトルを活用したこまめな水分・塩分補給を心がけ、熱中症予防に取り組みましょう。 ・地域のハザードマップの確認や非常食の常備、防災教育の受講など日常から防災意識を高めましょう。 ・身のまわりの自然や動植物の変化に注意を傾け、気候変動の影響について日常的に意識しましょう。 </div> <div data-bbox="607 794 674 842"> </div> <div data-bbox="300 850 974 885"> <p>生命・財産の保護・継承、安全・安心な生活、豊かな自然環境の保全 など</p> </div> <div data-bbox="300 946 974 1169"> <p>事業者の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来予測される「過去に例がない」自然災害リスクに備えたBCP(Business Continuity Plan、事業継続計画)の策定に努めましょう。 ・災害等緊急時の原材料調達体制の確保や夏季の高温等の電力使用量増加を補うための再生可能エネルギーの導入、作業時の熱中症対策など、日常の業務や活動に適應の考え方を組み込みましょう。 ・既存の製品やサービスに気候変動による影響や適應の観点を与え、適應ビジネスに活用しましょう。 </div> <div data-bbox="607 1181 674 1228"> </div> <div data-bbox="300 1236 974 1272"> <p>事業継続性の確保、ステークホルダーからの信頼確保、適應ビジネスの展開 など</p> </div> </div>	<div data-bbox="1272 239 1991 1315"> <div data-bbox="1294 239 1968 279"> <p>県民・事業者の具体的取組</p> </div> <p>気候変動に適應できる社会の実現には、行政の施策だけではなく、県民や事業者の理解と協力が必要です。</p> <p>また、気候変動による影響を踏まえ、ライフスタイルや事業活動のあり方を見直すことは、生活を守り、ビジネスを継続・発展させることにも繋がります。</p> <p>そのため、県民や事業者においては、気候変動の影響への備えとともに新たな気候条件を利用するなど、次のような具体的な取組を進めていくことが期待されます。</p> <div data-bbox="1294 499 1968 783"> <p>県民の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真夏日や熱帯夜の増加に備え、これまでの経験にとらわれず、昼夜を問わず熱中症に注意しましょう。 ・涼しい服装やマイボトルを活用したこまめな水分・塩分補給を心がけ、熱中症予防に取り組みましょう。 ・地域のハザードマップの確認や非常食の常備、防災教育の受講など日常から防災意識を高めましょう。 ・身のまわりの自然や動植物の変化に注意を傾け、気候変動の影響について日常的に意識しましょう。 </div> <div data-bbox="1599 794 1666 842"> </div> <div data-bbox="1294 850 1968 885"> <p>生命・財産の保護・継承、安全・安心な生活、豊かな自然環境の保全 など</p> </div> <div data-bbox="1294 946 1968 1169"> <p>事業者の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来予測される「過去に例がない」自然災害リスクに備えたBCP(Business Continuity Plan、事業継続計画)の策定に努めましょう。 ・災害等緊急時の原材料調達体制の確保や夏季の高温等の電力使用量増加を補うための再生可能エネルギーの導入、作業時の熱中症対策など、日常の業務や活動に適應の考え方を組み込みましょう。 ・既存の製品やサービスに気候変動による影響や適應の観点を与え、適應ビジネスに活用しましょう。 </div> <div data-bbox="1599 1181 1666 1228"> </div> <div data-bbox="1294 1236 1968 1272"> <p>事業継続性の確保、ステークホルダーからの信頼確保、適應ビジネスの展開 など</p> </div> </div>

新 旧 対 照 表

(新) 改定版・素案（パブリックコメント用）	(旧) 現行計画																																												
<div>13. 進捗管理</div> <div>適応策に係る進捗管理手法について以下に示すとおり検討します。</div> <div>・本県の実情に応じた適応策の推進を図ることを目的として令和2年に「沖縄県気候変動適応計画協議会」（以下、「適応協議会」という。）を設置しました。</div> <div>・沖縄県気候変動適応計画に記載の適応策に関する管理手法として、毎年度取組状況や進捗状況を把握します。</div> <div>また、適応策は短期間で施策の効果を評価することが困難である事を踏まえ、沖縄県気候変動適応計画の中間見直し(5年)や計画改定時(10年)及び沖縄県気候変動適応センターにおいて情報収集を行う中で気候変動による影響被害が確認された時など、必要に応じて適応協議会を開催し、評価することとします。</div> <div>・気候変動影響について評価する上で必要と思われる情報については、理解のしやすさやデータの入手可能性の観点から以下の項目を設定し、毎年情報収集します。情報収集項目については、適宜項目の追加や見直しを行うなど柔軟に対応します。</div> <div>【情報収集項目】</div> <table><tr><th>情報収集項目</th><th>データ入手元</th></tr><tr><td>平均気温(最高・最低)の変化</td><td>沖縄気象台</td></tr><tr><td>平均海面水温の変化</td><td>沖縄気象台</td></tr><tr><td>平均海面水位の変化</td><td>沖縄気象台</td></tr><tr><td>真夏日の発生日数</td><td>沖縄気象台</td></tr><tr><td>熱帯夜の発生日数</td><td>沖縄気象台</td></tr><tr><td>1時間降水量50mm以上の発生回数</td><td>沖縄気象台</td></tr><tr><td>沖縄地方の無降水日数</td><td>沖縄気象台</td></tr><tr><td>日降水量100ミリ以上の極端な大雨の年間発生回数</td><td>沖縄気象台</td></tr><tr><td>パインアップルの10a当たりの収穫量</td><td>農林水産省</td></tr><tr><td>赤土等堆積状況（SPSS）</td><td>沖縄県</td></tr><tr><td>自然災害による被害総額（豪雨）</td><td>沖縄県</td></tr><tr><td>熱中症救急搬送者数</td><td>総務省 消防庁</td></tr></table> <div>(選定理由) ①県民の理解のし易さ。 ②データが入手可能である。 ③現状気候変動影響が確認されている。</div>	情報収集項目	データ入手元	平均気温(最高・最低)の変化	沖縄気象台	平均海面水温の変化	沖縄気象台	平均海面水位の変化	沖縄気象台	真夏日の発生日数	沖縄気象台	熱帯夜の発生日数	沖縄気象台	1時間降水量50mm以上の発生回数	沖縄気象台	沖縄地方の無降水日数	沖縄気象台	日降水量100ミリ以上の極端な大雨の年間発生回数	沖縄気象台	パインアップルの10a当たりの収穫量	農林水産省	赤土等堆積状況（SPSS）	沖縄県	自然災害による被害総額（豪雨）	沖縄県	熱中症救急搬送者数	総務省 消防庁	<div>3. 進捗管理</div> <div>適応策に係る施策の体制及び管理手法について以下に示すとおり検討します。</div> <div>・本県の実情に応じた適応策の推進を図ることを目的とした「沖縄県気候変動適応計画協議会」（以下、「適応協議会」という。）を設置します。</div> <div>・気候変動適応策に関する管理手法としては、設定した管理指標について短期間で施策の効果を評価することが困難である事を踏まえ、沖縄県気候変動適応計画の中間見直し(5年)や計画改定時(10年)及び気候変動適応センターにおいて情報収集を行う中で気候変動による影響被害が確認された時など、必要に応じて適応協議会を開催し、評価することとします。</div> <div>・沖縄県気候変動適応計画記載の適応策については、毎年度取組状況や進捗状況を把握します。気候変動適応センターにおいては、情報について県HP等で周知する体制を確立し、また、気候変動影響に係る指標について、理解のしやすさやデータの入手可能性の観点から設定し、適宜指標の追加や見直しを行うなど柔軟に対応していきます。</div> <div>【モニタリング指標 案】</div> <table><tr><th>モニタリング指標</th><th>データ入手元</th></tr><tr><td>平均気温(最高・最低)</td><td>沖縄気象台</td></tr><tr><td>平均海面水温</td><td>沖縄気象台</td></tr><tr><td>平均海面水位</td><td>沖縄気象台</td></tr><tr><td>真夏日の発生日数</td><td>沖縄気象台</td></tr><tr><td>熱帯夜の発生日数</td><td>沖縄気象台</td></tr><tr><td>1時間降水量50mm以上の発生回数</td><td>沖縄気象台</td></tr><tr><td>熱中症救急搬送者数</td><td>総務省 消防庁</td></tr><tr><td>サクラの開花・満開</td><td>沖縄気象台</td></tr></table>	モニタリング指標	データ入手元	平均気温(最高・最低)	沖縄気象台	平均海面水温	沖縄気象台	平均海面水位	沖縄気象台	真夏日の発生日数	沖縄気象台	熱帯夜の発生日数	沖縄気象台	1時間降水量50mm以上の発生回数	沖縄気象台	熱中症救急搬送者数	総務省 消防庁	サクラの開花・満開	沖縄気象台
情報収集項目	データ入手元																																												
平均気温(最高・最低)の変化	沖縄気象台																																												
平均海面水温の変化	沖縄気象台																																												
平均海面水位の変化	沖縄気象台																																												
真夏日の発生日数	沖縄気象台																																												
熱帯夜の発生日数	沖縄気象台																																												
1時間降水量50mm以上の発生回数	沖縄気象台																																												
沖縄地方の無降水日数	沖縄気象台																																												
日降水量100ミリ以上の極端な大雨の年間発生回数	沖縄気象台																																												
パインアップルの10a当たりの収穫量	農林水産省																																												
赤土等堆積状況（SPSS）	沖縄県																																												
自然災害による被害総額（豪雨）	沖縄県																																												
熱中症救急搬送者数	総務省 消防庁																																												
モニタリング指標	データ入手元																																												
平均気温(最高・最低)	沖縄気象台																																												
平均海面水温	沖縄気象台																																												
平均海面水位	沖縄気象台																																												
真夏日の発生日数	沖縄気象台																																												
熱帯夜の発生日数	沖縄気象台																																												
1時間降水量50mm以上の発生回数	沖縄気象台																																												
熱中症救急搬送者数	総務省 消防庁																																												
サクラの開花・満開	沖縄気象台																																												